

一般財団法人宮崎県水産振興協会の種苗放流について

一般財団法人宮崎県水産振興協会（以下、水産振興協会）では、本県水産業の振興を目的として、放流用及び養殖用種苗の生産・供給を行っています。

このうち、ヒラメ、カサゴについては本県海域の水産資源の維持・回復のために、毎年県内各地にて種苗放流を実施しています。

また、当協会では、現在、放流対象種としてアマダイ類の量産技術の開発にも取り組んでおり、昨年度はアカアマダイの種苗生産において、過去最高の成績を修め、県下複数の漁協へ種苗を配布し、放流を行っています。

本年度のヒラメ、カサゴの種苗放流は5月末からスタートし、放流作業等については多くの関係漁業者、漁協並びに行政の方々の御協力をいただき、6月末に終了しました。

当協会では、今後とも本県水産資源の維持・回復のために、放流用種苗の生産・供給とともに、アマダイ類の量産技術の早期の確立に職員一丸となって努めていきます。

